


ノイズキャンセリング機能を使う

ウォークマンのノイズキャンセリング機能を有効にすると、周囲の騒音を低減することができます。ノイズキャンセリング機能を使うには、ノイズキャンセリング機能対応のヘッドホンが必要です。同梱のヘッドホンの他に、別売のヘッドホン (MDR-NWNC33) でもノイズキャンセリング機能を使うことができます。



ヘッドホンを選択する

- 対象のヘッドホンをウォークマンに接続する。
- ホームメニューから  [各種設定] - [ヘッドホン選択] - [付属/MDR-NWNC33] を選ぶ。


ご注意

- 対象のノイズキャンセリング機能対応ヘッドホン以外を使っている場合は、ノイズキャンセリング機能は働きます。


ノイズキャンセリング機能を使う

- ホームメニューから  [各種設定] - [ノイズキャンセル] - [設定] を選ぶ。
- 使用する環境に合わせて項目を選ぶ。情報表示エリアに  が表示されます。

ヒント



- バスや電車で音楽などを聞いていると、音が途切れる (音飛びする) ことがあります。仕組み上発生するもので、不具合ではありません。この現象は、[レベル調整]の値を小さくすることで改善されます ( [各種設定] - [ノイズキャンセル] - [レベル調整])。

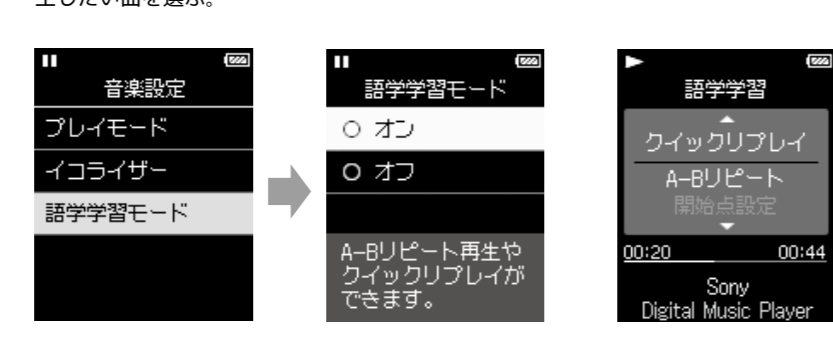
ご注意

- 曲が切り替わるときにノイズキャンセリング機能がオフになり、周囲の音が聞こえる場合があります。
- ノイズキャンセリング機能が有効なときは、かすかにサーという音がありますが、ノイズキャンセリング機能の動作音で、故障はありません。
- 静かな場所や、ノイズの種類によっては、ノイズキャンセリング効果が感じられない、またはノイズが大きくなると感じる場合があります。その場合は、ノイズキャンセリング機能をオフにしてください ( [各種設定] - [ノイズキャンセル] - [設定] - [オフ])。

語学学習機能を使う

[語学学習モード]を[オン]にすると、クイックリプレイ (3秒前に戻す)やA-Bリピート (区間リピート)など、語学学習に適した機能を使うことができます。

- ホームメニューから  [各種設定] - [音楽設定] - [語学学習モード] - [オン] を選ぶ。
- ホームメニューから  [ミュージック] - 希望の検索方法 - 語学学習モードで再生したい曲を選ぶ。



3秒前に戻して聞きなおす (クイックリプレイ)

語学学習モードで再生中に、約3秒前に戻して聞きなおせます。

- 語学学習モードで再生中または一時停止中に、**▲**ボタンを押す。押しした回数に応じて3秒、6秒、9秒・・・と戻ります。

同じところを繰り返し再生する (A-Bリピート)

再生中の音声の任意の区間を繰り返し再生できます。


- 再生中に、A-Bリピートを開始したいタイミングで**▼**ボタンを押す。A点**▲**(A-Bリピートの開始点)が表示されます。A点から曲の終わりまでの区間が繰り返し再生されます。
- A-Bリピートの終了点に設定したいタイミングで**▼**ボタンを押す。B点**▲**(A-Bリピートの終了点)が表示されます。A点からB点までの区間が繰り返し再生されます。A点とB点の間は最低1秒間の間隔を空けてください。

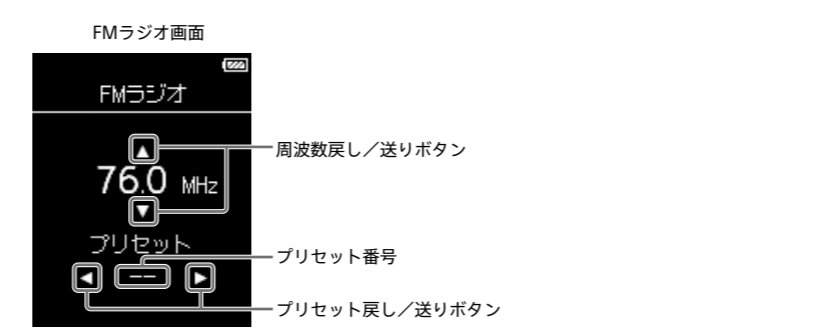
ヒント

- A-Bリピート中は、一時停止/再生再開、早送り/早戻し、クイックリプレイの操作を通常と同様に行えます。
- A点に戻るには、**◀**ボタンを押します。
- B点に進み、A-Bリピートを解除するには、**▶**ボタンを押します。
- A-Bリピートを解除するには、**▼**ボタンを押します。
- 音楽コンテンツの再生モードに戻るには、再生画面でOPTION/POWERボタンを押し、オプションメニューから[語学学習モード] - [オフ]を選んでください。

FMラジオを聞く

ウォークマンでは、FMラジオ放送を楽しめます。接続したヘッドホンのコードがアンテナとして働きます。コードをできるだけ長く伸ばしてお使いください。

- ヘッドホンをウォークマンに接続する。
- ホームメニューから  [FMラジオ]を選ぶ。FMラジオ画面に切り替わります。
- ▲**/**▼**ボタンで周波数を選ぶか、**◀**/**▶**ボタンでプリセット番号を選ぶ。



ヒント

- 放送局がプリセット登録されていないときは、プリセット番号で選局できません。受信可能な放送局をオートプリセット機能が自動登録するか、または手動で登録してください。

自動で放送局を登録する

[オートプリセット]を実行すると、お使いの地域で受信できる放送局を自動的に探してプリセット登録できます (最大30局まで)。

- FMラジオ画面でOPTION/POWERボタンを押し、オプションメニューから[オートプリセット] - [はい]を選ぶ。受信可能な低い周波数の放送局から順番にプリセット登録されます。

ご注意

- [オートプリセット]を実行すると、それまで登録されていたプリセットはすべて消去されます。

手動で放送局を登録する

登録したい周波数を手動でプリセット登録できます (最大30局まで)。

- FMラジオ画面で、登録したい周波数の放送局を選ぶ。
- OPTION/POWERボタンを押し、オプションメニューから[プリセットに登録]を選ぶ。低い周波数の放送局から順番にプリセット番号が振り直されます。

登録した放送局を解除する

- FMラジオ画面で、登録を解除したい周波数のプリセット番号を選ぶ。
- OPTION/POWERボタンを押し、オプションメニューから[プリセットを解除]を選ぶ。低い周波数の放送局から順番にプリセット番号が振り直されます。

スキャン感度を変更する

電波の状況によっては、多くの不要な放送局を受信してしまう場合があります。このような場合は、スキャン感度を[低]に設定してください。

- FMラジオ画面でOPTION/POWERボタンを押し、オプションメニューから[スキャン感度]を選ぶ。
- [高]または[低]を選ぶ。

モノラル/オートを変更する

FMラジオ放送を受信中に雑音が多いときは、[モノラル/オート]の設定を[モノラル]にしてください。[オート]に設定してある場合は、ステレオとモノラルは受信時の状態によって自動設定されます。

- FMラジオ画面でOPTION/POWERボタンを押し、オプションメニューから[モノラル/オート]を選ぶ。
- [モノラル]または[オート]を選ぶ。

ご注意


- 同梱のヘッドホンまたはMDR-NWNC33 (別売)以外のヘッドホンを使用すると、受信状態が悪くなる場合があります。
- 対応スピーカー (NW-S313K/S315Kに同梱、または別売)に接続中はFMラジオを聞けません。スピーカーからウォークマンを取り外し、ヘッドホンをつないでお聞きください。
- Bluetooth接続中は、FMラジオを聞けません。Bluetooth接続を切断し、ヘッドホンをつないでお聞きください。

Bluetoothオーディオ機器で聞く


Bluetoothオーディオ機器とウォークマンを接続し、ウォークマンの音声をワイヤレスで聞くことができます。

機器登録(ペアリング)する

Bluetoothオーディオ機器同士をはじめワイヤレス接続するときは、お互いの機器を登録しあう必要があります。この登録のことを「ペアリング」といいます。

- 接続するBluetoothオーディオ機器をペアリングモードにする。ウォークマンを1m以内に置いてください。
- ホームメニューから  [Bluetooth] - [機器登録(ペアリング)]を選ぶ。ペアリング可能なBluetoothオーディオ機器の検索が始まり、該当する機器の機種名が表示されます。
- ペアリングしたいBluetoothオーディオ機器を選ぶ。ペアリングが完了すると接続完了のメッセージが表示されます。
- ウォークマンで再生する。Bluetoothオーディオ機器で音声を聞くことができます。

ヒント

- 一度にペアリングできるのはひとつのBluetoothオーディオ機器のみです。複数の機器をペアリングするには、それぞれの機器を手順1から行ってください。
- Bluetooth接続中は、ヘッドホン端子に接続したヘッドホンからは出ません。ヘッドホンを使うときはBluetooth接続を切断してください。
- 同じ機種名のBluetoothオーディオ機器を複数お持ちの場合は、あらかじめペアリングしたい機器以外の電源をオフにすることをおすすめします。同じBluetoothオーディオ機器の名前が表示されたときは、ペアリングした機器のBDアドレスを確認してください。接続完了後にホームメニューから  [Bluetooth] - [登録済み機器の管理] - 確認したい機器を選ぶと、BDアドレスを確認できます。ペアリングした機器のBDアドレスについては、お使いのBluetoothオーディオ機器の取扱説明書をご覧ください。



ご注意

- 次のような場合は、機器登録(ペアリング)の情報が消えます。再度ペアリングしてください。
 - どちらかの機器、または両方の機器を、設定初期化などでお買い上げ時の状態に戻してしまった場合。
 - 修理を行ったなど、機器登録(ペアリング)の情報が削除されてしまった場合。
- Bluetooth無線技術では約10 mまでの距離で接続できますが、障害物(人体、金属、壁など)や電波状態によって、接続有効範囲は変動します。
- ウォークマンはBluetoothプロファイル*1として、A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)とAVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)に対応しています。接続するBluetoothオーディオ機器のプロファイルが、A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)に対応している必要があります。AVRCPに対応したBluetoothヘッドホンなどからウォークマンの基本操作を行うことができます。
- ペアリングの接続処理中にバスキー*2の入力画面が表示されたら、接続するBluetoothオーディオ機器のバスキーを確認し、入力してください。

^[1] Bluetoothプロファイルとは、Bluetoothオーディオ機器の特性ごとに機能を標準化したものです。

^[2] バスキーは、バスコード、PINコード、PINナンバー、パスワードなどと呼ばれる場合があります。ウォークマンのバスキーは「0000」です。Bluetoothオーディオ機器のバスキーについては、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

Bluetooth接続を切断する

- ホームメニューから  [Bluetooth] - [オーディオ機器切断]を選ぶ。Bluetooth機能がオフになり、情報表示エリアの  が消えます。


困ったときは

- ウォークマンに水や汗などがかかって動作しなくなった。
 - 電気回路がショートしないように電源が切れた状態のまま、水気がなくなるまで充分に自然乾燥してから電源を入れてください。復帰できない場合はソニーの相談窓口にお問い合わせください。

- ウォークマンの電源が入らない。
 - 長期間使用していない場合などは、バッテリーが空の可能性あります。満充電になるまで充電してください。

- パソコンに認識されない。
 - バッテリーが空の可能性あります。10分以上充電してください。
 - 接触不良の可能性あります。USBケーブルを抜き差ししてください。
 - 上記でも認識しない場合は、パソコンの電源を完全に切り、ウォークマンを取り外します。パソコンの電源ケーブルやバッテリーなどを外し、5分間の放電を行います。パソコンの電源を入れて起動します。

- 電池がすぐになくなる。
 - 充電が不十分の可能性あります。パソコンがスタンバイ(スリープ)、休止状態の場合は充電できません。起動した状態を維持して充電してください。
 - ウォークマンの設定で無駄な電池消費がされている可能性があります。ウォークマンの設定と電池持続時間については、別紙「使用上のご注意/主な仕様」をご覧ください。
 - ウォークマンを使用しないときは電源をオフすることで電池の消費を抑えることができます。
 - 充電を繰り返すと電池の特性上劣化が発生します。使える時間がお買い上げ時の半分くらいになる充電可能な回数の目安は、約500回です。ソニーの相談窓口にお問い合わせください(別紙「使用上のご注意/主な仕様」参照)。
 - ウォークマンはACアダプター (AC-UD20) (別売)や対応スピーカー (NW-S313K/S315Kに同梱、または別売)で充電できます。

-  が表示される。
 - 電池の劣化、破裂を防止するための温度保護機能が働いています。5℃～35℃の環境で充電してください。

- 画面が表示されているが動作しない。

- パソコンから一度に多量の音楽などのコンテンツを転送した場合は、データベースの更新に時間がかかります。数十分程度時間がかかる場合があります。
- 操作しても反応しない場合は、ペンやクリップなどでウォークマン背面のRESTARTボタンを押して、ウォークマンをリスタート (再起動) してください。


- 曲が転送順に表示されない。

- 曲は転送順には表示されません。決まった曲順通りに再生したい場合は、パソコンを使ってプレイリストを作成し、ウォークマンに転送してください。

- FMラジオのノイズが大きい。
 - ヘッドホンのコードがアンテナとして働きます。できるだけ長く伸ばしてお使いください。
 - 電波が弱い、または雑音の原因となる携帯電話などが近くにある可能性があります。

ウォークマンの本体メモリーを初期化(フォーマット)するには

下記の手順に従って必ずウォークマン上で行ってください。初期化すると記録されたデータはすべて消去されますので、初期化する前に内容を確認してください。

- ホームメニューから  [各種設定] - [共通設定] - [各種初期化] - [メモリー初期化] - [はい]を選ぶ。各種初期化(フォーマット)が始まります。

使いかた(ヘルプガイド)とサポート情報を調べる

インターネットに接続できる環境の場合、ウォークマンのサポートページ (http://www.sony.jp/support/walkman/) で以下の情報を得ることができます。



サポートページの主な情報

- 使いかた(ヘルプガイド)
 - 本体、推奨アプリケーションの使いかたなど
- 困ったときは(Q&A)
- 接続情報・対応表
- ダウンロード
- 推奨アプリケーション、本体ソフトウェアアップデートなど
- お問い合わせ
- 最新のお知らせ